追悼・

宇佐見和彦兄…6

ます。この神の恵みは十分です。

しまない心』

ホセア書10章9節~12節

教 説

けちけちとしか蒔かない者は、

コリントの信徒への手紙 二 9章6節 (15 節

することになろう」 (佐竹明訳9・ もって播く者は讃美をもって収穫 することになろう。また、賛美を るのである」(田川建三訳9・6)。 福して蒔く者は、祝福して収穫す けちけちとしか収穫できない。祝 けちけち播く者はけちけち収穫

ちけちまくのではなく祝福してま 収穫できるのです。 美を持って神の恵み(=献金)を 語りました。そうしたら祝福と替 いたり、賛美しながらまこう」と パウロは、献金の心構えを「け

が信仰はもちろん、財政的に支え にはエルサレム教会と異邦人教会 果てまで伝えるのです。そのため つとなってキリストの福音を地の エルサレム教会を助け、共に一

> リント8・9)。 貧しくなられた。それは、主の貧 あったのに、あなたがたのために ています。すなわち、主は豊かで 主イエス・キリストの恵みを知っ はありません。主の御心です。主 自身の名誉や称賛を求めるためで になるためだったのです」(21 に兼ね仕えることはできません。 心があります。私たちは神と富と われます。宝のある所に私たちの の選びと招きに応えるためです。 合わなければなりません。パウロ しさによって、あなたがたが豊か 「あなたがたは、わたしたちの 献金によって私たちの信仰が問

てくださる神を、私たちは賛美し トの恵みをもって私たちを祝福 たちは生かされています。キリス このキリストの恵みによって私

俊彦 しです。 パウロ自身の経験です。信仰の証 応じて、キリスト・イエスによっ たしの神は、御自分の栄光の富に ピの教会に向けて語りました。「わ イリピ4・19)。死すら覚悟した べて満たしてくださいます」(フ て、あなたがたに必要なものをす 獄中にあった時パウロはフィリ

もめはもっと嬉しいでしょう。 分を献げるやもめの気持ちが、キ です。神を信じる気持ちです。 めを見てキリストは喜んでくださ くださったことが分かったら、 です。キリストがそんなに喜んで リストにとってはとても嬉しいの プトン銅貨2枚はやもめの気持ち いました (ルカ21・1~4)。レ レプトン銅貨2枚を献げたやも Þ

> そして時代と地域をこえて私たち レム教会もマケドニアの諸教会も、 るのです。コリント教会もエルサ

どの恵みがあるでしょうか。これ 愛です (ヨハネ3・16)。これほ ちに、永遠の命をたまわるほどの と御子イエスと聖霊を信じる私た す。独り子を与えてくださるほど ほどの豊かな祝福があるでしょう の神の愛です。この神の愛は、神 ます。そして愛してくださいま 神は隠れたことを見てください

どの神の報いがあるでしょうか。 す神への感謝となるでしょう。献 さった信仰という真心は、ますま してくださいます。真心溢れる者 神が私たちをあらゆる点で豊かに か。わたしたちにとって、これほ て私たちは一つとなることができ 金によって、共に祈り、主にあっ て神が私たちに豊かに与えてくだ にしてくださいます。献金によっ

訳2コリント9・8)。 者となるのです」(聖書協会共同 がたは常にすべてのことに自足し きになります。こうして、あなた がたに満ち溢れさせることがおで て、あらゆる善い業に満ち溢れる の教会も主にあって一つです。 「神は、あらゆる恵みをあなた

楽しみに待ちたいと思います。 を、大いに期待したいと思います。 溢れる者としていただけること ながら、神によって善い業に満ち は献身のしるしとして献金を献げ ました。そして終わりの日までに 成し遂げてくださいます。私たち このことを神が始めてください





会い、親の元を離れて結婚、 なる神」の存在を教えられました。 歌を歌い、聖書の勉強をして、「内 聞き、中学、高校入学卒業、讃美 学校にも通い、イエス様のお話を が、第1回目の節目。教会の日曜 留から帰って来た年でした。これ 昭和24年、父親が長いシベリア抑 やがて、社会人となり、夫と出 物心ついて7才、小学校入学。

ありませんでした。 教会に通うチャンスは、 時は、心の中の内なる神様に、常 さな生命を委ねられ、これは、し に助けられていただきましたが、 大きな節目。子どもを育てている っかり生きて行こう!と思った それから、お母さんになり、 なかなか

りしているこの頃です。

した、と思った節目。

思い出してみます。 の人生を振り返り、 「節目」と言えば、私の今まで 数々の節目を

阿片美鶴穂

後の節目」となりますようにお祈 祝福され、洗礼を受けた瞬間は、 得度した夫は厳しい修業をして、

り前のこと。これが、どうぞ、「最 きていく、その覚悟をした2年余 それぞれの道でした。 うやって生きていくかと思う時 親を見送り、改めて、これからど です。3人の子どもを育て上げ、 や教会に通う、世間では珍しい話 やがて、本当の仏様になりました。 感動と共に私の大きな節目でし に、自然と開かれたような、夫婦 った夫婦が、片や仏教の道へ、片 っかけでした。 仏教の勉強を始め、家を出て1年 て、教会に通い出す節目がありま 目。沢山の節目を経験して、やが 目。家を建て、2度の引越しも節 節目。親たちの介護、見送りも節 した。それは、ある時から、 それは、この先、私が独りで生 クリスマスの日、大勢の皆様に 子どもたちのそれぞれの成長の 金婚式も祝い、50年以上連れ添 地方のお寺に入ったことがき 入学、卒業、就職、

笑顔と広島弁が飛び交い、旧姓や

桜岡理代

だ。自分で選んできたようで、実 を作り始めた時。出産で母になっ 社会人になった時。結婚して家庭 ら分るからだ。15才の受洗の時。 はその場に置かれていたのが今な が見渡せる。それぞれの節目の時 かった。その時々の山あり谷あり 人生を俯瞰できる年令にさしか

たい。これも節目。 わりの品々や、家財道具等も少し ずつ片づけなければ。身軽になり 年賀状を終りにした。今年はピア を少しずつ簡素にと思う。昨年で 活」が言われ、私も広がった生涯 バムも整理だ。増え続けた身のま た。数年前からテレビ、雑誌で「終 た一人に戻った時、老後が始まっ ノ、50枚のレコードを処分、アル 両親を見送り、夫の介護の後ま

会を果した。各地から信州に集合、 人と、隠退牧師とで60年ぶりの再 昨年の秋、高校の時の同級生5

> が様々な体験もして今がある。こ と話していたことがやっと実現 私が広島を離れて途絶えた。大阪 先々に訪ねては交流があったが の教会を数ヶ所牧会された。その ャンプの打合せやおしゃべりで親 り道にあるので、集っては地区キ 師は白髪だが昔と変らず穏やかで 屈託のない昔に戻っていた。老牧 の再会もひとつの節目だったと思 お互いに励まされる。一人ひとり で受洗して、今でも各教会で充実 した訳だ。5人の友達は15、16才 会う時は「先生に会いたいねー。」 や広島で当時の友人と久しぶりに しくなり、その後先生は中国地方 会にひと夏来られた。学校の帰 生は夏期伝道で広島の中心地の教 お元気で嬉しい。神学生だった先 ニックネームで呼び合い、一気に した信仰生活を続けていることは

> > 母は昨年10月の台風19号で被災

でありたいと思う。 の中にあった」と感謝できる歩み 変な渦中にあっても後から「み手 節目が待っているのだろうか。大 向って進む。これから先、どんな どっぷりと振り返り、また前に

大きな節目

りました。節目でしょうか。 場所については相次いで動きがあ 見ていると今迄知らなかった色々 堂北教会会員だった母も半年後に なことに気付かされます。最近居 は97才になります。高齢の2人を 99才になる姑、そして40年間経 鈴木恵子

も困難と判断されるとオムツ生活 を考えて車椅子生活になり、その く中で、母はどの様な心持ちでい 中で足が弱り、立位が短い時間で 肋骨骨折や打撲が多くなると安全 とと思います。振り返ってみると、 階に分けられているのは周知のこ るのだろうかと思ってしまいます。 や自分の身体的能力が変化してい いと誰でも思うもの。しかし環境 す。人生の終わりに幸せでありた て今は大学病院に入院していま し施設から救出されました。そし へ。食事についても、自力で食べ 身体的能力に応じて介護度が段

> すじが見えてきます。 進歩するその逆を辿り、 容もちょうど離乳食から普通食へ ていたのが介助が必要となり、内

込む様に思えました。 ました。イザヤ書とあったので探 設の標語として玄関に記されてい れは母が25年程お世話になった施 ことを今ごろ思い出しています。 も共感できずお話が続かなかった すうちに、何か心の中に光が差し しゃいましたが、その時の私は何 には誇りがあるでしょ…」とおっ たことがあります。「ほら、主人 病気だった御主人様の様子を聞い いただいた昼間知子さんに当時御 以前御近所に住んで親しくして 「砂漠を主の園の様にする」。こ

が続いていきます。 件の許す中で助けてくださる日々 ださいます。行き違いやこちらの 験に照らして判断し、対応してく んが、弱っていく人に対して、条 説明不足など心配の種は尽きませ 療にあたってくださり、施設も経 病院も豊富な症例に基づいて治

謝を覚えるこの頃です。 御言葉が与えられていることに感 こうした毎日の中で心の片隅に

その時は気づかなくて

友田英津子

価していただき、リサーチアシス 目と言ってよい体験をした。ハー びっくりされた。 カしたからです」と申し上げて、 してくださっていたK先生とケン 験だった。5年前の4月に先生と っていけると確信できた貴重な経 究の夢が叶った。研究者としてや タントとして招待されて、共同研 バード大学の久野先生に論文を評 論文をお送りしたのは、当時指導 お会いした時、「先生のところに 45年前の1月に、人生最大の節

生設計なんてあってないようなも どが浮かんできた。若い頃は、人 に過去問をもらいに行ったことな なく盛り上がって、大学院事務室 ゼミで仲の良かったM君となんと 最近になって思い出し始めると、 もした。どうして進学したのかと る友だちをうらやましく思ったり だった。結婚して子育てをしてい 大学院生活は不安と苦労の連続

> は、文法の専門家になる最初のき 心に文法を教えてくださったこと に英語を習っていて、その方が熱 た、中学生の時に友だちのお父様 生の財産になっていることを思 の良い師と良い友との出会いが 決めたことで、後になって恵泉で がついているから」という理由で から感謝している。 っかけだった。今もY先生には小 い、何とも不思議な気がする。ま った娘を心配した両親が、「短大 に下してきたように思う。 恵泉に入学したのも、体が弱か

のではない。 ものであって、前もってわかるも 「そう、あの時だった」と気づく 節目などというものは、あとで

う。 になっていたかもしれないと思 曲がるところを左に行っていた 頃つくづく思う。どこかで、右に 少ない職業の一つだったと、この 苦手な私のような者でも務まる数 の仕事は、不器用で人づき合いの 3年前までやっていた大学教員 無職で結婚もしないでこの年

ので、恐ろしい決断をいとも簡単 区切りの時

えました。 りの時はいつだったろうと色々考 この原稿を依頼された時、区切

師さんのお陰です。

特に問題なく、元気に生活できて

メージがありました。でも今まで

出産時には子どもにもかなりダ

いるのは、新生児科の先生や看護

きにくかったです。 薬の副作用で手が震えてすごく書 早産での入院と、その入院中に14 す。病室で退職届を書いた時は、 年勤めた会社を退職したことで 一番印象に残っているのは切迫

を時々歌っています。

親族の葬儀や旅行で数回歌った

讃美歌312番「いつくしみ深き」

さて、その子どもが最近鼻歌で

本当に感謝しています。

無事でした。 ができたことが幸いし、母子共に 大勢いたこと、入院中で早く処置 なりました。昼間で各科の先生が ましたが、出産は緊急帝王切開に

がしました。 と言われ、私も負けてしまった気 が、なぜかその方に「勝ったー!」 今思えば少ない方がよいのです たが、同室の方は9月間でした。 しました。私は8日間の入院でし きて退院の目処がたった時は安小 出産後数日経ち、体力も戻って

また一つの区切りです。

月から中学生になります。これも 経ち、その時産まれた子どもは4

それから早いものでもう12年が

清水清佳

薬を点滴し続け、安静にしてい

いつの間に覚えたのか不思議で ことがあるくらいだと思うので、

よいので、ずっと歌い続けてほし ましています。これからも時々で いと願っています。 その時はじっと見守り、耳をす



光

餅つき報告

この日、例年と変わらぬ光景が教会にはあった。台所では大量の教会にはあった。台所では大量の群米が蒸され、中庭では子どもたちの弾けるような掛け声とともに、小気味よく餅が搗かれる。屋内では、搗き立ての餅がせっせと一口大に丸められ、豚汁のよい香りが漂う。そして、多くの方が餅を頬張り、豚汁をすすり、会話に花が咲く。子ども用の木製椅子に原囲を見渡す牧師の姿。

その一方で、毎年と異なる光景もあった。あちこち行ったり来たりと落ち着かない伝道師の姿。衛りと落ち着かない伝道師の姿。衛生対策にヘアキャップを着用した供こね部隊。そして一番の変化は、(例年同様、1年で最も険しい表信の)石室裕一兄の主戦場が、中陸の臼の前ではなく台所の蒸し器の前だったことだろう。若い搗き手の台頭によるものか、はたまた体力的なものか定かではないが、はたまた体力的なものか定かではないが、中にかったのは例年通りだった。神様の家族として、皆とともに主の食卓に与る恵みは何ものにも

に食事をするであろう」(ヨハネに食事をし、彼もまた、わたしは戸口に立って、 では、わたしは戸口に立って、 で別な、かたしは戸口に立って、 で別よ、わたしは戸口に立って、 で別よ、わたしは戸口に立って、 を聞いて戸を開ける者があれば、 わたしは中に入ってその者と共に わたしは中に入ってその者と共に

の祝福を祈ります。 (原 良介)分だけのものとせず、常に皆と分かち合いたい。今年も無事に餅つかち合いたい。今年も無事に餅つかち合いたい。

の黙示録3・20



図書茶話会報告

図書茶話会の報告ということですが、茶話会の時に話した内容にすが、茶話会の時に話した内容に

の届かないものと感じます。 手段であり、趣味の読書に憧れは になるかと思います。今では本と た際に少々たしなんで、それきり むということは、学生時代にライ りありません。娯楽として本を読 どもの頃から本を読むことに親し のつきあい方を端的に表すのはこ するものの、どうも敷居が高く手 いうのはもっぱら知識を獲得する トノベルと呼ばれるものが流行っ て読書を楽しむという発想があま は高尚なものであって、娯楽とし うも読書というものは私にとって んでこなかったものですから、ど れだろうと思ってつけました。子 りもない題なのですが、私の本と いうものをつけました。何のひね ので、「本を読まない者の話」と 題をつけるようにと伺いました

なると、少々身の丈に合わないもいざ読書をするために本を買うという人間でありますので、

のを買ってしまうところがあります。図書茶話会でのお話の担当にす。図書茶話会でのお話の担当にけていましたうと発起して興味のある書をしようと発起して興味のある本を買いました。しかし、いざその本について話すとなると、図書茶話会に出すには少々内容的にも茶話会に出すには少々内容的にも茶話会に出すには少々内容的にも本を買いました。

本を読むことに不器用な私ですたと言うことができるのが聖書でたと言うことができるのが聖書でたと言うことができるのが聖書です。高校2年生の頃に初めて通読す。高校2年生の頃に初めて通読す。読みながら居眠りをして、聖間の中で少しずつ読み進めました。読みながら居眠りをして、聖書を床に落とした音で目覚めるといったことを繰り返しつつも、およそ1年半をかけ、なんとか読みよそ1年半をかけ、なんとか読みよそ1年半をかけ、なんとか読みよそ1年半をかけ、なんとか読みよそ1年半をかけ、なんとか読みよそ1年半をかけ、なんとか読みようでも良い思いる。

(狩野進之佑

追 ありがとうございました

故・ 宇佐見和彦兄

会から離れてしまいました。 で長い間日本を離れたりして、教 ー、ロンドン、ニューヨーク勤務 成長期の企業戦士となり、シドニ た。私も結婚を機に受洗いたしま 懸命活動していました。彼を通し ました。ジュニアチャーチで一牛 の小池文雄牧師により洗礼を受け した。しかし、社会に出ると高度 彼は高校生の時に神戸甲南教会 続いて両親が導かれまし

の日の説教や教会の様子に耳を傾 それからは日曜日が待ち遠しく けるのが彼の日曜日の楽しみとな 守り、急いで帰宅し、昼食時にそ まいます。私が彼の分まで礼拝を 3年余でかなえられなくなってし しながら通いました。が、わずか 二人で礼拝に出席する喜びに感謝 っと経堂北教会に招かれました。 退職し神様のお導きにより、ほ

> きますが、「余生」ではなく与え を守ることが、彼の希み、私の務 礼拝に行きたい」と震える字で書 り、前向きに穏やかに過せたこと られた生を全うする「与生」と悟 りました。だんだん体力が衰えて めと思います。 いてありました。そう、私が礼拝 は幸でした。彼がしたためていた 「エンディングノート」の1頁、「今 番したいことは」の問に「日曜

謝でいっぱいです。(宇佐見泰子) とが出来ました。最後まで周りに がなくなっていた中、涙を流して の嬉しそうな顔が目に焼きついて クエストして一緒に歌っていた時 かに召されて行きました。深く感 過ぎてから安心したかのように静 気配りし、クリスマス、お正月が 何より大事にしていた彼の元に10 あげてくださいました。もう意識 います。岸先生が病床で聖餐式を くださった折、大好きな校歌をリ の同窓生の方々が讃美歌を歌って て祈ってくださいました。聖歌隊 人全員が集まって見守り続けるこ ありがとう」と言ったそうです。 皆様の祈りに支えられ、家族を インマヌエル会の方が我家に来

礼拝を大事にした母

故・ 中瀨古芳江姉

事を開始した翌日のことでした。 らも「10月の結婚式と披露宴に出 月に会った時も流動食をとりなが 管支炎の治療を終え年末に退院す していた時と同じ穏やかな顔だっ たが、蘇生処置するも戻ってくる 受け、急いで病院に駆け付けまし ら母が心肺停止になったと連絡を 年78歳。1月7日の早朝、施設か た。ありがとうございました。亨 とりあえず安心して新年明けの仕 司を食べたい」と言っていたので、 たいから頑張らなくちゃ」「お寿 ることが出来ました。そしてお正 時を迎えたのかなと思います。気 たので、あまり苦しまずに最期の ことはありませんでした。昼寝を 礼拝生活を送ることが出来まし 父が亡くなってからパーキンソ 母は皆様に支えられて、豊かな

してくれたのだと思います。

することを通して、信仰の継承を りも、どんな時でも礼拝を大事に 憶がほとんどありません。言葉よ と、母が信仰の話をしてくれた記 て乗り越えてきました。今考える ありましたが、神様に与えられた それ以来、礼拝生活を送って来ま が、高校生の時に教会と出会い、 きました。本当に信仰によって慰 餐を受けたよ」といった話が出て も「礼拝に行きたい」「この前、 とが難しくなった母ですが、いつ 試練と捉え、礼拝の恵みをもらっ した。中瀬古家には色々と困難が められていたのだと感じました。 母は仏教の家に生まれました

昔はよく夫婦喧嘩をして、子供た を教えていただけると幸いです。 中に残る、私達の知らない母の話 ます。これからも皆様の思い出の ちをヒヤヒヤさせましたが、これ 会えるという希望が与えられてい ですが、私達には神様から、また 母と会えないのは、やはり悲しい からは仲良くして欲しいものです。 で父と会えているのでしょうか。 1月13日に葬儀を行い、神の国

(長男・中瀬古力

とを思い出します。教会に行くこ 族の話を楽しそうに聞いていたこ リハビリに励む毎日でしたが、家 ン病を発症し、歩行に困難を覚え、

牧師の書斎から

伝道師の書き込み

る機会が与えられました。 のこと。栗平教会で説教奉仕をす すが、1月の最後の週、1月26日 もう2ヶ月前になってしまいま

時の経堂北教会の副牧師であっ として与えられた開拓伝道の志に た大澤秀夫先生による夕礼拝が よって建てられた教会です。当 います。経堂北教会創立40年を機 んの方がずっとよくご存じかと思 栗平教会のことは私よりも皆さ

> たようです。 建てられ、現在の栗平教会となっ の1990年に栗平の地に会堂が しました。それからさらに10年後 伝道所として開拓伝道がスタート 1979年10月になされ、百合丘

> > を受けている際に、CSのミュー

は、賛美の歌声にはかなり迫力の ますか、ぎっしりとした印象を受 なのか、もう一つ印象的だったの けました。そういう状況もあって 物に対して人が多くて、何と言い たしました。前に立ってみると建 たのと同じヨブ記の箇所で説教い 私が初めて経堂北教会で行なっ

> て良いものでしょうか。 初めて来たときも驚いていたので さについては、実は経堂北教会に ものです――くらいしか私には経 ばならない牧師は声が大きくなる ああまで高らかに歌うというの ある教会だったということです。 産まれた教会だけはある…と言っ すが、これは流石経堂北教会から 験がありません。賛美の声の大き しの通り、率先して賛美しなけれ 他に牧師の集まる会――お察

もちました。自己紹介や質問など 礼拝後には2階で愛餐会の時を

教年鑑』によると、日本のキリス 向。教団以外のプロテスタント教 の0.8%弱です。 ト者人口は95万人。日本の総人口 会も同じく減少。文化庁発行の『宗

るでしょうか。 この危機を乗り越えることができ に集中して、主のもとに一致して している教団が、人材と財を伝道 教勢減と財政逼迫の危機に直面

しょう。

伝道推進と教団機構改定となるで 団総会があります。議論の中心は

この秋には、第42回日本基督教

害に対して祈りを合わせ、力に応 以来、東日本大震災を含め昨秋の 台風豪雨災害まで、教団は自然災 1995年の阪神・淡路大震災

> 致して取り組むことができるので じて、また力以上に献金し、危機 取り組むことができていません。 解が異なり、主のもとに一致して な立場があり、伝道についての理 す。しかし伝道の危機には、様々 人道支援には教団は主のもとに一 を乗り越えてきました。いわゆる この体質を変えていく議論が進

> > 踊りになっていただろう。自分の り、傍から見ればどれほど珍妙な ており、ただでさえ得意でない踊 内容は記憶からほとんど抜け落ち ました。まさか二度踊ることなど ょっとやってみてほしいと言われ います。1月号を読んでいた方が には毎月、『栄光』をお送りして ジカルの話が出ました。栗平教会 記憶力の乏しさが恨めしいです。 想定しておりませんでしたので、 いらっしゃって、どんなものかち (狩野進之佑

報告会を行います。 するため、教区選出教団総会議員 伝道推進と機構改定の議論を共有

ませんでした。 ていながら、この20年具体化でき 削減できます。このことが分かっ ことです。これで1千万円経費が 数を400から200に半減する 案を挙げましょう。教団総会議員 機構改定について一つだけ具体

お祈りください。 議論が実を結ぶようにと、どうか ありませんが、教団総会に向けて 中身を十分お伝えできず申し訳

議があり、伝道対策検討委員会が いています。東京教区でも教団の あります。また非公式の協議も続 めに常議員会があり、宣教方策会 むことを願うばかりです。そのた

45万人。ただしここ数年は減少傾

ック教会はこの30年で30%増の 逼迫しています。ちなみにカトリ は5分の1弱の減少。当然財政も 16万5千人と21世紀に入って教勢 めて20万人を切りました。18年度 2001年、教団の信徒数は初

最近は若い方々が動いている姿

クリスマスにはいつものよう

個人消息

! **(** ?

ぞできるところを見つけて積極的 に加わってくださいますように。 配布にあたり確認しました。どう 理解ご協力により予算が達成され 始まりました。会計は、皆様のご 活動への奉仕申し込み表」などを、 ていることが報告されました。 「祈祷会司会アンケート」、「教会の 新年度に向けて、「献金のお願い」、

きできれば、と楽しみにすること またそれぞれの地での活躍をお聞 転居。少し寂しい思いもしますが 方々もおられます。進学、 にします。

資料の確認、

報告などから

2月の長老会はいつものように 回覧、

まとめ、 ていきます。 めました。来月も継続して協議し 私は問安委員会に所属していま

すので、最近感じたことなどを少

になるのが大変かな、ポストに入 ど、様々なご事情でのお断りが多 では失礼かしら」など、ご事情と れるだけの方が良いかしら。それ 届けする場合には「玄関までお出 てくださる方、恐縮される方。お いますが、お便りで近況を知らせ の印刷物や『栄光』をお送りして くありました。月々にボックス内 方針で訪問がかなわなかった方な に訪問の予定を組みました。けれ 入院された方、入所施設の

れました。お届けくださっていた

ーしてお届けしていたN姉が召さ いつも岸牧師の宣教原稿をコピ

しくなりました。委員も同様に歳 った笑顔が浮かんでね…」と。 K姉と一緒に「待っていてくださ

こちらの性格(?)の兼ね合いに

動していきたいと願っています。 を出し合いながら、祈りつつ、活 を重ねていますが、工夫し、

がよく見えて嬉しく感じていまし 年度末を控えて、今年度の反省、 新年度には新しい出発をする 新年度の活動の検討を始 就職

揭示板



○受難调祈祷会 4月8日(水)

午前 10:30 マタイ 26:1-56 狩野伝道師 7:00 マタイ 26:57-75 岸牧師

- ○もより教会合同受難週礼拝 4月9日(木)午後7:00 松沢教会 山畑譲牧師 (千歳船橋教会)
- ○受難日祈祷会 4月10日(金)午前10:30 狩野伝道師 マタイ 27:1-65
- ○イースター墓前礼拝 4月12日(日)午前7:30 春秋苑教会墓地
- ○イースター礼拝 4月12日(日)午前10:15

編集後記



▽礼拝堂では結婚式が、地下の牧師室では編集委 員会が行われ、それぞれの場所に神様の祝福が ありました。(沢田)

光」2020年3月号

日本基督教団 経堂北教会

〒 156-0051 東京都世田谷区宮坂 3-21-11

: 03-3428-5029 / FAX : 03-3428-5038

:岸 俊彦 伝道師:狩野進之佑 牧師

: 栄光編集委員会 Email: kyodon@nifty.com

HP : http://kyodokita.life.coocan.jp らいながら続けています。 消息を聞き合い、アドバイスをも 微妙なこともあります。委員会で